

紀 要

(X IX)

大阪府立金剛コロニー

大阪府障害者福祉事業団

はじめに

昨年4月に施行されました障害者自立支援法は、サービスの利用者、提供事業者には様々な影響をもたらしました。入所利用者は、サービス利用料の1割負担、食費・日用品費、水光熱費の負担など、また一方では、支援費報酬基準の見直し（月額から日額報酬へ）、人件費単価の減額など、事業者にとっても厳しいものとなりました。この間激変緩和措置がとられてはいますが、緩和されたという実感は未だ湧いてこないのが現実です。

コロニーでは、約300人の利用者がコロニーから出たいと表明された3年前のニーズ調査に沿って地域移行支援を行っています。大阪府の障害者地域移行支援センター事業を活用し、今年度だけでも、他の法人の協力も得て、約50人の利用者が地域生活に移行される予定です。長年住み慣れたコロニーを離れ、地域での生活も楽しく過ごされています。地域移行による利用者の減員に伴い大規模施設の解消にも順次取り組んでいます。

また、コロニー内に建設しました重症心身障害児施設「すくよか」は、4月に開所します。「すくよか」では常時医療的支援が必要な利用者が移行する予定です。その準備を急ピッチに進めています。さらに、来年4月開所に向けた特別養護老人ホーム「かんなびのさと」の工事も予定しています。コロニーが大きく様変わりしています。

こうした激動のときこそ、更なる専門性の向上を図る必要があります。今まで培ってきた支援のノウハウを専門的に積み上げていくことが求められます。コロニーの「紀要」はその重要な役割のひとつを担っています。

すべてが大きく様変わりする激動の現在を背景としていますことをご配慮いただきご一読ください。

平成19年3月

大阪府立金剛コロニー

コロニー長 坂浦 眞津男

目次

	はじめに	
1	芝居創りと知的障害者の発達～劇団「座・ゆめ音」の活動を通して～……1 しいのき寮/酒井響里子	
2	知的障害者のストーマケアについて……19 診療所/恩塚 恵	
3	知的発達障害者のコミュニケーションを支援する コンピューターと人間のインターフェース設計……31 くすのき寮/柳内 英二	
4	施設職員の専門性とは何か……43 ひのき寮/山田 忠男	
	あとがき ……53	
	目録添付 ……55	